



夫婦で5回連続参加

台

鈴木 純 (74歳) 夫妻
栄子 (72歳)

町民号に参加して

八重の高潮が勝鬨をあげて狭間の海に挑む鳴門の渦潮のすさまじい迫りに打たれたのを皮切りに、第10回町民の旅が始まる。

785段の石段に流した汗の中で拜んだ金刀比羅さん。

道後温泉の古風なたたずまいの中で、三千年の歴史の湯に心温める。

瀬戸の内海にかかる大橋の描がき出した優美な風景に感嘆。9・4キロの吊り橋に一般自動車道と鉄道とが併行しているのを見ては近代技術に只々驚嘆。

今年も二人揃って皆さんとの楽しい旅の中で、豊かな視野と明日への活力を育てていただいたことに感謝する。



芝崎

鈴木秀男さん (58歳)

白磯

鈴木秀夫さん (58歳)



二夫婦と二人に記念品
大木ご夫妻、鈴木ご夫妻には、一泊目の宴会時に五回連続参加の記念品が町から贈られ、その他にもユニーク賞として、三回連続同姓同名で参加されたお二人にも記念品が贈られました。

旅の思い出



夫婦で5回連続参加

入

大木久幸 (56歳) 夫妻
民子 (56歳)

町民号の思い出

旅行当日の早朝、半ばあきらめていた天気も、徳島に着くと、参加者の気持ちが雨を吹きとばしたかのような好天で、金刀比羅宮も苦なく登ることができ感激しました。

1泊目の宴会では、夫婦で5回連続参加の記念品をいただき、もう5回目になるのだなあと思いました。

日頃、地元であまり顔を合わすことの出来ない先輩、知人、友人達と再会し、これも町民号に参加させていただいたからこそ出来る楽しみだと思えます。

帰りの車中等で旅の思い出話と一緒に、「また来年も参加しましょう」と言葉を交わし合い、別れを惜しんでしまうほど、楽しい有意義な旅行でした。

いまでは、私達の年中行事のひとつとして、空の旅を楽しませていただいております。



3日目は、松山市内の観光。松山城では町長と正副議長と一緒に、号車ごと記念写真を撮影し旅の思い出づくり。上の写真は1号車の皆さんです。



梅雨時と思えないほどの好天に恵まれた2日目。汗ばむほどの陽気の中訪れた栗林公園では、どこを見ても絵になる景色ばかりで、あちらこちらで記念撮影。

「こんな素晴らしい松が庭にあったら最高だ」と、ついつい見惚れてしまいました。